



アイヌ文化の保存と伝統的なお祭りが開催される「ポコロシリ・チセ」

阿寒富士から流れる底路川と、底路ダムの美しい湖は絶景

「しそ焼酎 鍛高罌(たんたかたん)」のふるさと、鮮やかな紫蘇畑

映画のロケ地にも選ばれるビューポイント、名前も美しい「恋問海岸」

大正時代から伝わる郷土芸能、躍動感あふれる「白糠納踊り」

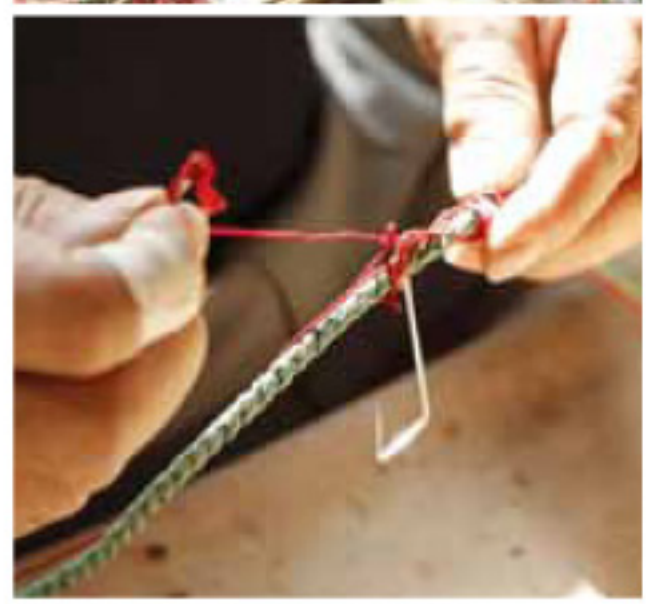
# 白糠

白糠の柳だこ漁は、伝統と誇りを継いでゆく「空釣り縄」。

厳しい冬に身を引き締めしめて  
白糠の特産品「柳だこ」

北海道の東部に位置し、眼前に太平洋が広がる白糠町。暖流と寒流が交わる豊かな漁場には、一年を通して多くの魚が水揚げされます。中でも、伝統的な漁法で獲る「柳だこ」が有名です。

大正時代から続く「空釣り縄」は、縄に釣り鉤と重石と浮きを付け、その縄を海中に設置して、移動するたこを針に掛けて捕る漁法。1つの



手で1本1本鉤を付ける仕掛け作り

柳だこの味と、伝統的な漁法を守り続ける。

白糠漁業協同組合代表理事組合長 柳谷 法司

柳だこ漁を冬に限っているのは、来たものだけを得るのも資源保護の一つと考えているからです。厳しい寒さの中での漁になります。海、資源を引き継いでいくのも私たちの役目。他の地域の漁師たちからも「旨い」と言われる柳だこの味と、伝統的な漁法をこれからも守っていききたいと思います。



白糠の柳だこを、北海道の食文化の一つに。

白糠町長 棚野 孝夫



北海道の東部に位置し、眼前に太平洋が広がる白糠町。



厳しい冬の海へと船を出す柳だこ漁。

自然を尊び、先人に学ぶ  
白糠の風土が深める味わい

農を生かした多彩な「食」がまちの宝となっています。白糠町では、あらゆる自然の恵みに感謝するアイヌ文化を大切に、その考え方は漁業や農業に携わる人々にも伝わっています。厳しい冬の海へと船を出す柳だこ漁が100年も続いているのは、「海によって生かされている」

という漁師たちの思いが、時代を越えて受け継がれているからなのでしょう。

自然を尊び、先人に学ぶ風土が思づく白糠。そこに生き続けている、漁師たちの技と誇り。北海道開拓おかきにまた一つ、極上の海の幸せが加わります。

神様にも喜ばれる、おいしい柳だこをぜひ。

白糠アイヌ文化保存会会長 磯部 恵津子

この世には何ひとつないものはない。それがアイヌの考え方。柳だこは昔からよく食べていて、内臓も「ともあえ」などにして残さずいただきます。柳だこは、アイヌ語で「アトイナウ。海の御幣、つまり神様に供える柳の木のことです。神様にも喜ばれる、おいしいことをぜひ味わっていただきたいですね。」



北海道産特産品である「柳だこ」を全国へ。

北海道漁業協同組合代表理事組合長 川崎 一好



白糠町は、「アイヌ語の「波が磯を越えしぶき立つ」様子が町名の由来。アイヌの人々が暮らした地は、海、川、森の自然の恵みが豊かな地と言われ、白糠もまた漁業や酪



【アクセス】  
◎お車で  
札幌より…約6時間(297km)  
釧路より…約35分(30km)  
◎JRで  
札幌より…約3時間50分(特急)  
釧路より…約35分(普通)

北海道開拓おかき  
白糠 柳だこ味  
1本(約170g) 380円(税込)

北菓楼

明日いよいよ  
新発売

太平洋の豊かな漁場で育まれる白糠の柳だこ。大正時代から受け継がれる伝統漁法で水揚げされ、築地市場でも最高級の評価を得ています。その「柳だこ」を厳選された北海道産のもち米に練り込み、味わい深いおかきに仕上げました。「北海道開拓おかき」シリーズ、4年ぶりの新味の登場です。

北海道開拓おかき

しらぬか  
白糠 柳だこ

発売20周年